

平成 25 年度
事業計画書

一般財団法人 農村開発企画委員会

平成25年度事業計画書

一般財団法人 農村開発企画委員会

農山漁村の活性化に関する調査研究、土地利用形成に関する計画策定、農山漁村集落の活動支援等を実施し、都市と農村の交流を通じた集落コミュニティの再生・維持に取り組む。また、東日本大震災の被災者支援に取り組む。

(以下に述べる事業は、公募応札を予定している補助事業・委託事業等を含めて作成したものである。)

・調査研究事業

1. 国内の農山漁村の活性化に関する調査・研究

条件不利地域である農山漁村において、住民主体の持続的な取組による農村コミュニティの維持・再生について調査・研究を実施する。

また、その他農山漁村の活性化に関する調査・研究を実施する。

2. 海外の農山漁村の活性化に関する調査・研究

中国農業部農村経済研究センターと連携し、農山漁村の活性化に関する調査・研究を行う。

・計画策定支援事業

土地利用形成に関する計画策定の支援

農業振興地域整備法の新たな改正を受けて、望ましい地域の土地利用計画の策定を支援する。

また、その他農山漁村の活性化に関する計画策定を支援する。

・活動支援事業

1. 農山漁村集落の活動支援

農山漁村の持つ豊かな自然や「食」を観光、教育、健康等に活用しながら、都市と農山漁村における所得や雇用の増大により地域活性化と地域コミュニティの再生に向けた取組を支援する。

また、その他農山漁村の活性化に関する活動を支援する。

2. 東日本大震災の被災者支援

農山漁村被災者受入円滑化支援事業により、被災農家等の希望や意向を十分に踏まえつつ、一時的な雇用の支援又は避難先での永住を希望される被災者には持続的な新規就農又は雇用就農を支援する。

・普及推進事業

1．表彰事業の実施による優良事例の普及推進

(1)食アメニティコンテスト

農山漁村の女性を中心としたグループによる地域農林水産物を活用した活動であって、農山漁村の活性化に貢献している優れた取組みについて表彰を行う「食アメニティコンテスト」を実施し、その取組みについて全国に発信する。

(2)美の里づくりコンクール

地域住民等が主体となった美しいむらづくりのための優れた取組みについて表彰を行う「美の里づくりコンクール」を実施し、その取組みについて全国に発信する。

2．農村アメニティ活動の支援

(1)農山漁村の女性グループ等の活動支援

農山漁村の活性化への女性参画や食アメニティの向上を目的とした食アメニティコンテスト受賞団体などの活動を支援する。

(2)全国農村アメニティ協議会の活動支援

美の里づくりコンクール受賞地区などで構成する全国農村アメニティ協議会の組織運営とシンポジウムの企画・実施を支援する。

3．郷土料理、食文化の普及推進

(1)「農山漁村の郷土料理百選」の普及

郷土料理の普及を目的に「農山漁村の郷土料理百選」に選定された料理のレシピの公開、及び料理店の紹介を行う。

(2)関連事業の実施

郷土料理、食文化の普及のため、「郷土料理伝承学校」を実施する。

4．普及活動等の実施

(1)研修会の開催

農山漁村の活性化担当の地方自治体職員等を対象として、ワークショップの企画・運営のスキルを習得するための研修会を開催する。

(2) 農政ジャーナリストの会との現地研修

農山漁村の活性化に取り組む現場を「農政ジャーナリストの会」の会員とともに共同取材し、広く農山漁村の活性化の取り組みを広報する機会の提供を行う。

(3) 農林水産祭への出展

農林水産省が行う農林水産祭において、の活動支援事業で支援した農山漁村集落の取り組みをパネル展示し、全国に発信を行う。

(4) 刊行物の販売

「農村整備用語辞典」、「家庭で味わう郷土料理百選」等刊行物の販売を行う。

(5) 農村計画学会の事務局業務の実施

学会事務局の受託については、学会誌の編集・印刷段階での折衝、学会誌発送、会員名簿更新・整理、一般事務等の業務を行う。

(6) ホームページの活用

本財団のホームページの内容充実及び適切な管理運用を図ることを通じて、農山漁村の活性化に関する情報の提供・収集に努める。